

低ナトリウム血症(急性)の治療を受けられる








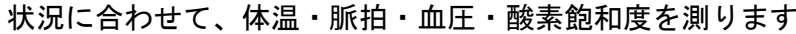










(120未満症状無心不全無、120以上症状有心不全無、
120未満症状無心不全有、120以上症状有心不全有)
120未満症状有心不全無、120未満症状有心不全有)

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日～月 日
経過	入院日	2日目	3～4日目
目標	○心身ともに安定した状態で検査・治療を受けられる ○治療のための安静が守れる ○副作用や苦痛が出現した際には早期に対処される		
検査	身長、体重測定 採血(4時間毎)	 ・採血、尿検査(早朝)  ・その後4時間毎に採血  ・胸部レントゲン	 ・採血、尿検査(早朝)  ・その後4時間毎に採血
	検査当日は緊急時対応などにより、検査時間の変更や時間の延長が生じる場合があります		
食事	 低ナトリウム血症が改善するまで絶飲食 改善後に病状に応じた食事(飲水制限あり)となります		
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		退院時にリストバンドを外します
	尿量測定を行います (測定が難しい場合は尿の管を挿入します)		
	 点滴の針を挿入します  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 低ナトリウム血症に影響する薬もあるため医師の指示に従って内服してください		
	 低ナトリウム血症が改善するまで点滴を行います 経過によって点鼻薬を使用します	 低ナトリウム血症が改善すれば点滴を減らし、内服薬に変更していきます	
行動	 ・低ナトリウム血症が改善するまでベッド上安静です点滴を行っている手首を曲げないでください その他の手足は動かしていただいて構いません  ・低ナトリウム血症が改善し、点滴終了及び症状改善後は病棟内の歩行や車椅子での移動が可能です  低ナトリウム血症が改善後シャワー浴できます (週3回病棟によって日が異なります)		
説明・指導	 医師より (外来または入院時) ・検査入院の目的について  看護師より ・入院生活について  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 医師より ・今後の治療方針について ※入院を継続する場合がございます

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 01-E87-4.5.6.7.8.9 2024.3.25 版 京都第一赤十字病院
 * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。